

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	こどもサポート「きらり」太田第2事業所			
○保護者評価実施期間	2025年 12 月 15 日		～	2025年 12 月 20 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	11
○従業者評価実施期間	2025年 12月 15日		～	2025年 1月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	行動観察の視点	保護者様からの困りごとをお聞きし、支援に取り入れ観察し、フィードバックの際に具体例を用いた助言を行っている。 保護者様や指導員一人一人が児童の特性を共通理解して発達段階に応じた支援を実施している。	指導員の更なる資質の向上に努めてまいります。
2	個別支援と集団支援	個別支援、集団支援を組み合わせ提供することで、日常生活での困り感を解消できるように取り組んでいます。	集団支援の際に、異年齢交流となっているため、発達段階に応じたグループ分けが必要である。
3	保護者相談への対応	いつでも相談できるように声掛けを意識的に行っている。	引き続き行っていけるように努めてまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	バリアフリー化が不十分である	事業所の玄関入り口の階段は高さがあるため、下りる際に危険と感ずることがある。	踏み台などを用意する等、段差を狭くする工夫を検討してまいります。
2	SNSの活用	定期的ではないが、イベントの様子や普段の活動の様子をSNSであげている。拡散力が弱いため、一部の保護者様しか知らない。	目を引くような拡散力のある、SNSを発信できるように努めてまいります。 保護者様が見て嬉しくなるような発信をできるように努めてまいります。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		こどもサポート「きらり」太田第2事業所					公表日		2026 年 2 月 14 日		
							利用児童数	15		回収数 11	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環 境 ・ 体 制 整 備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	2			広くて個別の際も一人一人のスペースが確保されていると思います。	ご意見ありがとうございます。 引き続き、一人一人のスペースが確保できるように努めてまいります。			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9	1		1		厚生労働省の定める配置基準を遵守しております。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9			2		引き続き、児童にわかりやすい構造化された空間を保たれるように努力してまいります。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	1			きちんと掃除されていてきれいだと思います。	ご意見ありがとうございます。 引き続き、お子様に清潔な空間の提供ができるように努めてまいります。			
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11				子どものことをよく見てくださっており、特性に応じた支援をいただいていると思います。	ご意見ありがとうございます。 引き続き、保護者様のお悩みに寄り添いお子様の特性に応じたプログラムで対応していけるように努力してまいります。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11								
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11				面談の際もよく話を聞いてくださったり、アドバイスをして下さり助かっています。	ご意見ありがとうございます。 適切な支援ができるように研鑽に努めてまいります。			
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11				面談で話した内容などをきちんと支援して下さっており、具体的な支援内容も設定されていると思います。	ご意見ありがとうございます。 引き続き、保護者様のお悩みに寄り添いお子様の特性に応じたプログラムで対応していけるように努力してまいります。			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	1							
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	1		2	毎回色々な活動をして下さっており、固定化されないような工夫をされていると思います。	ご意見ありがとうございます。 引き続き、色々な支援プログラムを提供できるように努力してまいります。			
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6		3	2		現在保育所等との交流は行っておりません。 今後どのような形で交流が可能か検討していきます。			
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11								
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11								
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10			1		ご家族様が参加できる研修や講演会の情報があった場合には玄関ホールに掲示させていただいております。また、個別でもご案内させていただいております。			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9	2				お預かりの際、お帰りの際のフィードバック時にお伝えさせて戴いております。また、個別での相談や支援見学等は適宜実施していますので、お申し付けください。			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11				小さな相談も親身になって聞いてくださり、いつも適正なアドバイスをいただけて助かっています。	ご意見ありがとうございます。 引き続き、保護者様のお悩みに寄り添いお子様の特性に応じたアドバイスができるように研鑽に努めてまいります。			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11								
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	1		3		保護者、兄弟姉妹、参加型のイベントを企画提供しております。引き続き、参加してみたくなるようなイベントを企画できるように努力してまいります。			
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11								

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11				動画や写真を使って活動時の様子を見せていただいたり、分かりやすく説明してください。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	5	5		1	インスタにいつも活動内容などをのせてくださっていていつも楽しみに見えています。	きらりのホームページやInstagramなどで情報発信していることを広く知ってもらえるように努力してまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9			2		毎月防災訓練を実施しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	10	1				通所している児童全員が安心感をもって通所できるように努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	10	1			毎回楽しみにしています。きらりの先生方が大好きとっていました。 毎日毎日「きらり行く」と楽しそうに話しています。	通所している児童全員が楽しみに通所できるように努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11				優しく親身になってくださる先生が多く満足しています。 きらりに通ってよかったことありません。 2時間の集団療育でどのくらい効果があるのかよくわかりません。	引き続き、良質な支援ができるように研鑽に努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こどもサポート「きらり」太田第2事業所	公表日	2025 年 2 月 14 日
------	---------------------	-----	-----------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		ガイドラインに則ったスペースを確保しスペースを確保できるように同時時間帯の人数の調整をしています。	同時時間帯で4支援入ってくるとスペースに狭さを感じる。粗大運動の活動に制限をしなくてはならない。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		配置基準人員数を厳守し、運営しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日、掃除はしているが、手の届かない場所については時間を十分に確保できるときに行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		パーティションを活用し、個別スペースを設定しています。	個別のケースに応じた支援スペースの確保に努めまてまいります。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者等の意向を把握し、改善に繋げています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		朝礼や昼礼の際に意見を出してもらうこともありますが、意見が出てこない時には、個別で意見を聞いて業務改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	内部監査を実施しており、指摘事項については改善していきます。 保護者様の評価をもって改善していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		交通安全研修（事業所単位）やケース会議（ブロック単位）など会社組織で実施しています。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		子どもと保護者のニーズや課題を把握したうえで作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに沿って作成し、保護者の同意を得ています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		月ごとに担当者を変えています。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		流れは固定しているが、提供する支援は固定しないようにプログラムを考えています。	今後も継続できるように努力してまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	次回の担当者に行っている。 当日休みの人などは共有フォームや日報で確認しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6ヶ月に1度モニタリングを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		地域の保健センターや保育所、学校などの関係機関には相談支援事業所を通して、必要時に会議の場を設けるなど連携を実施しています。	今後も継続できるように努力してまいります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		他の事業所や保育所などの関係機関には相談支援事業所を通して、必要時に会議の場を設けるなど連携行い、情報共有をしお互いの役割の確認しています。	今後も継続できるように努力してまいります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		自治体と連携を図り、必要な情報の提供しています。	不十分なところは見直し、今後も継続できるように努力してまいります。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)		○	必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けている。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		今後、イベントなどで、交流する機会をどのように作れるか検討していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		積極的に情報共有をしています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ご家族様が参加できる研修等がある場合には玄関ホールに掲示させていただいている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		作成の際にはご家族様の意向を確認しています。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		半年に1回のモニタリングの際、または、お申し出があった場合、時間を調整し面談しています。	今後も継続できるように努力してまいります。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		父母会ではないが、保護者きょうだいが参加できるイベントを行っている。	どのような形での父母会やきょうだい会（交流会）が良いかなどを検討していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		定期的ではないが、イベントや活動の様子をSNSで発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報に関しましては、鍵付きのロッカーにて厳重に管理しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		個々に応じて配慮しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを整備し、訓練を実施しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		事前に保護者に聞き取り、共有しています。変更等あった場合は、お薬手帳のコピーをいただいております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		事前に保護者に聞き取り、対応しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		適宜共有しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		毎年2回研修を実施しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			